

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800070
事業所名	グループホームたなお

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 聞き取り調査当日の日中も「たなお村祭り」のテントの片付けに代表者が出向いており、地域行事の応援者として位置付けられていることが確認されています。そのような状況から事業所の好感度も上がっているようで、隣近所だけでなく、退去者の家族からも野菜が届き、応援者を増やしていることが視えます。また、地元のスーパーマーケットへの買い出しは利用者も同行し、レジでの支払いという社会参加も叶っています	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 行政や家族の参加を得た運営推進会議では、事業所の取組を報告するとともに、日々の写真をスライドショーで200枚ほど披露する事を恒例としていて、利用者の生活の様子が届く説明に努めています。また「参加者数を増やしたい」として、開催前日に家族へ電話を入れるよう図ったところ、倍増したとの嬉しい結果に突っえています	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 碧南市の介護保険運営委員や介護サービス事業者連絡会の役員をはじめ、キャラバンメイト連絡会代表等、事業所では管理者が主体となって行政との協働と連携が十二分に成されています。その関わりから、市役所の担当者とは顔なじみの関係にあり、事業所のことのみならず、市全体に係る介護や認知症対応の意見交換に及んでいて、それは事業所の質の向上にもつながっています	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者とは主に日常の会話から意向収受を図っていて、職員からのアプローチに重きを置いています。特に食事においては、予め「何食べたい？」「今日はどうします？」と意見を募り、そこから食材の買い出しをおこなっていて、利用者の意向が反映された献立やおやつが毎日提供されています。また、家族とは面会時に利用者本人の様子を伝えることで意見を引き出していて、要望が挙がったときには介護計画書に取り入れています	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			◎

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎	○	○	◎					